

# まぼろし 幻の大陸に沈んだ プロビデンス号

■ 出土地：八重干瀬（宮古島）

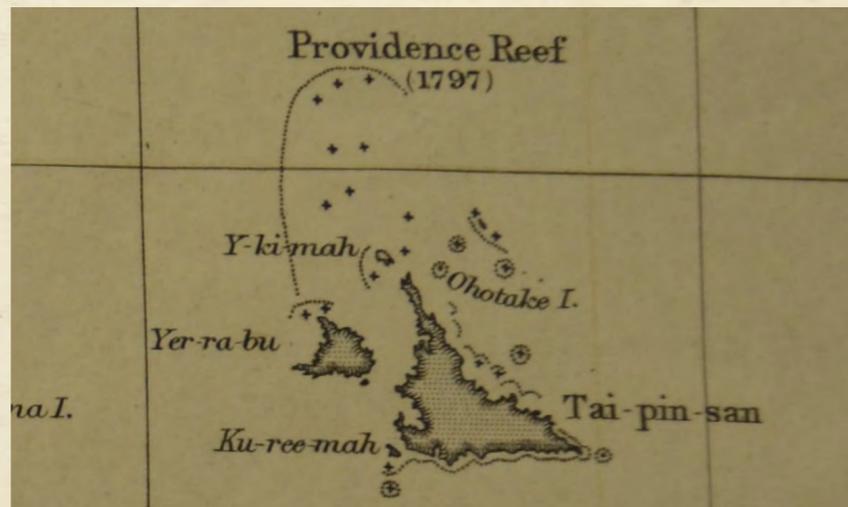
「まいコレ」では、収蔵庫に眠るイチ押しのお宝を、月替わりでご紹介。今回は先月に引き続き、水中遺跡第2弾です！

今月の展示は、宮古島北方の海域にある巨大なサンゴ礁群「八重干瀬」で見つかった遺物です。「八重干瀬」は年に一度（旧暦3月3日）、陸化することから『幻の大陸』として有名ですが、船舶にとっては座礁の恐れがある危険な海域です。これらの遺物は、1797（尚温3・天明9）年に座礁・沈没したとされるイギリス軍艦のプロビデンス号のものと考えられています。

発見された遺物には、中国産陶磁器、ガラス製のワイン瓶・角瓶、釘、船体の部品と考えられる鉄製品・銅製品などがあります。十字状の銅製品にはよく見るとシンボルマークが刻まれています。このマークは池間島の池間離島振興総合センターで展示されている鉄製品にも刻まれていることから、何らかの関連性があると思われます。



池間離島振興総合センター内の鉄製品。○部分に矢印のようなシンボルマークが見える。



19世紀にイギリスで作成された地図（大英博物館所蔵）の一部。八重干瀬に Providence Reef と記録されている。